

【科目名】日常生活活動学実習		【担当教員】高橋明美、松林義人、押木利英子						
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0615-0-1	(メールアドレス) 【高橋】 akemi.t@nur.ac.jp 【松林】 matsubayasi@nur.ac.jp 【押木】 oshiki@nur.ac.jp						
【開講時期】3 学年通年	【選択必修】必修	(オフィスアワー) 【高橋】月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30 【松林】9:00～17:00 (水曜日を除く) 【押木】月, 水, 木 9:00-17:00						
【単位数】1	【コマ数】23							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 講義と実技を交え、学生間でディスカッションをしながらすすめる (受講のルールに関わる情報・予備知識) 講義や実技には積極的に臨むこと								
【講義概要】 (目的) 日常生活活動学で学んだ多様な障害に対する評価方法、日常生活活動・動作の指導方法の原理を用いて、疾病や障害に即した日常生活へのアプローチ方法について実技を通して学修する。また疾病や障害における日常生活上の禁忌事項や注意事項について理解することを目的とする。 (方法) 専任教員の指導を仰ぎながら実技を中心とした授業形態で行う								
【一般教育目標(GIO)】 正常な基本動作・歩行動作について理解する。また代表的な疾患の動作の特徴を理解し、基本的な日常生活指導が実施できる。日常生活活動を補助するための、福祉機器の処方と使用について理解する。 【行動目標(SBO)】 ① 日常生活活動と障害について説明できる ② 正常な基本動作・歩行の運動学的分析ができる ③ 代表的な疾患における日常生活活動を分析し、基本的な日常生活指導が実施できる ④ 各種疾患に処方される福祉機器の用途と特徴について理解し、使用することができる								
【教科書・リザーブドブック】 鶴見隆正, 隆島研吾 (編) : 標準理学療法学専門分野, 日常生活活動学・生活環境学, 第 4 版, 医学書院, 2012								
【参考書】 ①伊藤利之・江藤文夫 (編) : 新版日常生活活動 (ADL), 評価と支援の実際, 医歯薬出版, 2010 ②河元岩男・他 : 日常生活活動学テキスト, 改訂第 2 版, 南江堂, 2014								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験、レポートにより総合的に評価する								
【達成度評価】	試験	小テ	レポー	成果	実技	ポートフォ	その他	合計

平成 26～28 年度入学者用

		スト	ト	発表		リオ		
総合評価割合	60	0	20	0	20	0	0	100
評価指標	取り込む力・知識	60	0	0	0	10	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	20	0	10	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	ADL の概念と評価	講義 (松林)	(予習) 教科書 (pp4-34,52-71) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
2	基本動作 (寝返り・起き上がり) の運動学的分析 1	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp36-51) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
3	基本動作 (寝返り・起き上がり) の運動学的分析 2	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp36-51) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
4	座位姿勢の運動学的分析	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp36-51) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
5	基本動作 (立ち上がり) の運動学的分析	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp36-51) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
6	基本動作 (立ち上がり) と立位姿勢の運動学的分析	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp36-51) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
7	正常歩行の運動学的分析 1	実習 (松林)	(予習) 基礎運動学の正常歩行に関する内容を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
8	正常歩行の運動学的分析 2	実習 (松林)	(予習) 基礎運動学の正常歩行に関する内容を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
9	片麻痺に対する ADL 指導 －片麻痺の特徴と指導時の留意点－	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp114-125) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30

平成 26～28 年度入学者用

10	片麻痺に対する ADL 指導 －基本動作の特徴と指導方法 について－	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp114-125) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
11	片麻痺に対する ADL 指導 －ADL と IADL に対する指導 方法について－	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp114-125) を読んでおくこと。 (復習) 理解し、整理すること。	30
12	脳性麻痺 (児) の障害特性と ADL	講義・実技 (押木)	(予習) 教科書 (pp142-152) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
13	脳性麻痺 (児) の ADL 指導	講義・実技 (押木)	(予習) 教科書 (pp142-152) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
14	脊髄損傷の病態、ADL 指導 起居動作に対する指導方法	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp126-131) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
15	脊髄損傷の ADL 指導 移乗動作、歩行	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp131-141) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
16	関節リウマチの病態、ADL 指 導	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp153-160) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
17	関節リウマチに対する自助 具、補装具の適応と処方	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp80-89) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
18	パーキンソン病の病態と ADL 指導	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp192-198) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
19	脊髄小脳変性症、筋萎縮性側 索硬化症の病態と ADL 指導	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp198-207) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
20	大腿骨頸部骨折の ADL 指導	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp161-167) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
21	変形性関節症の ADL 指導	講義・実技 (高橋)	(予習) 配布された資料を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
22	歩行補助具の種類、適応	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp90-96) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30

平成 26～28 年度入学者用

23	車椅子の処方、身体計測とチェックアウト	講義・実技 (高橋)	(予習) 教科書 (pp97-111) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめておくこと	30
試験				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。